

ミックスジュース

学級通信
鯉沢中3年生
2018年6月19日
No. 12
雨を吹き飛ばせ
全校陸上練習スタート



道徳「スタヂの苗木」



読み物について（少し前ですが、思い出してください）

「父の仕事は日雇い人夫です。」青雲高校の入学試験の面接で星飛雄馬は堂々と答えます。この場面は主人公にとって大きな驚きであり、衝撃を受けます。なぜなら、主人公も飛雄馬とおなじ境遇だったからです。

主人公は、家族を支えるために黙々と働き続ける父親に誇りを感じていました。しかし、世の中の偏見のために、どうしても父親の職業に対するとらわれた考えを捨てることができなかつたのです。

主人公の大学の学費を稼ぐために、身を粉にして働く父親。後に主人公は、父親が身体を病み入院していたことを知り、激しく心を揺さぶられます。主人公の心の変化に共感することで、親の子どもに対する愛情の深さ、有り難さを実感できる資料です。



今日の授業で学んだこと、考えたこと（「主人公はどんな父親になったか？」という観点で…）

- 主人公が子どものころ、父親に素直に感謝することができなかつたから、子どもに「感謝の気持ちをもつ」ことを教えていると思う。私自身は、親に感謝してもしきれなくらいたくさん迷惑をかけているけど、自分なりの方法で恩返ししていきたい。
- 自分の親が命を削ってまで働いてくれたので、そういうことを良く理解した父親になったと思います。今回の授業で親のことを考えました。自分の親も、自分たちのために働いてくれていると思いました。このことを忘れないでください。
- この父親はいつも貧しく、主人公は情けないと思っていた。だから、「豊かな生活を子どもに送らせる」父親になったと思う。しかし、この父親はひたむきな努力を惜しまなかつた。主人公はそのことに気づけなかつた。だから、「誰かのために」ということを伝える父親になっていたと思う。
- 主人公は子どものために、体を壊してまで働く偉大な父親をみているから、いつまでも自分より子どものことを優先する父親になると思う。そして、その子どももまた父親をみて育ち・・・良い父親に・・・のような温かい連鎖が起きると良いと思った。